

# 星空宅配便のノウハウ

加古川宇宙科学同好会 (KSS)

代表 細谷 秀樹



加古川宇宙科学同好会は、今年に結成40周年を迎えます。メインの活動は、出前形式の星空ガイドである『星空宅配便』です。25年で750回を超えたところです。長く続いているので、それなりのノウハウが伴っているのです。今回は、その点の紹介したいと思います。

## (1) 星空宅配便の受け入れ

★エリア 主に兵庫県内    ★対象 家族単位～学校行事    ★時間 60分～120分  
★主に土曜日    ★雨天 雨プロまたは中止    ★費用 無料    ★機材 持ち込み

同好会の日程で受け入れ可能な日で受け入れ、依頼主の要望に応じて計画を立てています。天気により、星の観望ができないケースがありますが、雨プロで実施していることで、主催者にも喜んでもらっています。

## (2) プログラム

★晴天 ①星座ビンゴ ②プラネタリウム ③星空案内 ④天体望遠鏡での観望  
★雨天 ①クイズ ②星座ビンゴ ③プラネタリウム ④星占い

上記が、基本的なパターンですが、参加者の人数、年齢層、開催場所、天気などにより、臨機応変にプログラムを組み替えています。

## (3) ノウハウ

- ① 最初に、アイスブレイクとして、星に関するクイズやゲームを取り入れています。中でも『星座ビンゴ』は、毎回好評であり、30年ぐらい続いています。景品は、星に関するグッズや天体写真などであり、たいへん喜んでもらっています。
- ② プラネタリウムは、ステラナビゲータを使用し、プロジェクターで投影しています。生解説で、終了後に復習のクイズもあることから、参加者も必死にメモをとったりしています。内容は、これから観望で見る星座や星、天体の紹介に絞っています。
- ③ 天体望遠鏡は、スタッフの自前であるので、対象人数が多いときは、スケツトをお願いしています。また、手持ち双眼鏡や星座早見盤のレンタルも行っています。
- ④ リピートの依頼が多くあり、前回と同じ内容にならないように、特色をもたすようにしています。最近は、『星・宇宙のニュース』（パワーポイント・クイズ付き）に力を入れています。観望も話題の天体に重点を置くようにしており、それに応じて時間の設定も変えています。ISSの通過などは、サプライズプログラムで大好評です。

## (4) 問題点・課題

入れ替えなしのプログラムなので、参加者、特に子供が退屈しないように、配慮はしているものの、主催者のリピート依頼はあっても、参加者のリピートは伸び悩んでいます。また、スタッフの不足が悩みの種です。 **会員募集中!**

